

初倉地区学校再編計画（案）説明会

日時 5月28日（火） 午後7時から午後9時まで

場所 初倉公民館 くらら

参加 98人（保護者51人、地域住民47人）

意見

発言者A（男性）

●湯日小統合まで2年間しかない。

●通学（登下校）の方法、跡地の活用など細かいところを具体的に提示してもらいたい。

●西部ふれあいセンターで活動している子供を見守る会はどうなるのか。

→スクールバスは片道4km以上等の規定があるが柔軟に対応したいと考えています。

→跡地利用については市全体で考えていくもので、検討委員会を設置し、ワーキンググループなので地域の意見を伺っていくので御協力をお願いすることになります。

→通学を含め、子供の安心安全が一番です。保護者の意向を聞いていくつもりです。

→西部ふれあいセンターについては総合的に検討していきます。

発言者B（男性）

●P8 指定校変更制度とはなにか。

→学区指定を受けた学校以外の学校に通うことを認める制度のことです。学区は地番によって決まります。実際に湯日地区の子供でも金谷小に通っている子もいます。特例の制度ですので、通学審議会でも検討されることになります。

●湯日小の統合が令和3年度との説明があった。以前教育長が統合には2年は掛かると言っていたが、受け入れ側の校舎、教員の配置等は大丈夫か。

→2年が望ましいと思います。直近1年は子供たちの交流期間とします。複式学級を避けるため少しでも早くしたいので、このスケジュールとなりました。

発言者C（男性）

●初めて説明会に参加した。統合ありきという計画に違和感がある。

●P9 「島田の教育が目指す小中一貫のモデル校」とあるが今まで教育委員会が出している島田の教育などにこの表現はない。突如出てきた理由はなにか。

●統合は子供優先とのことであるが、今の状態と何が変わるのか。

●湯日小は子供を見守る会に参加し、地域と学校のつながりがある。地域と学校が連携し、子供を育てているので、他地区に比べて良い環境だと思っている。地域が強くなってこそ、教育ができると思うが。

→小中一貫についてはあり方検討委員会において示されており、各学校にも伝えてあります。「モデル校」は別として考えてもらいたい。

→小さい学校、大きい学校それぞれメリット、デメリットがあります。大きい学校には切磋琢磨し、多くの意見が聞けることやコミュニケーション能力がつくメリットがあり、小さい学校には地域とのつながりが密で、目指す存在（上級生）も身近にいることがメリッ

トです。将来的にはコミュニケーション能力が求められ、一番大切になると思っていますので、ある程度のボリュームがほしくなります。

→地域との関係はおっしゃるとおりです。教育委員会でも「地育」を掲げています。

発言者D（男性）

●コミュニケーション能力について、今の湯日小でなぜその教育ができないのか。

→湯日小でできないというわけではありませんが、あくまでも一般論です。全国的に調査すると統合の基準を各市が持っている、一番多いのは20人以下、次に1クラス、次に10人以下となっている。この基準が作られた経過は先ほどの話に繋がっています。

発言者E（男性）

●統合した後の評価方法は。

●初小、初南小の統合についての検討方法は。

→評価の仕方はむずかしいです。やるからには全力でやって失敗しないようにしたいと考えています。市、学校、地域、職員等でフォローし合っていく必要があるでしょう。

→評価は、短期、長期の視点で見ることが大切です。

→初南小については単なる先延ばしではないので、今後校舎のキャパや子供たちの安全性の調査等を行っていくとともに、小中一体校のメリットなども含めて調査・研究していきます。

発言者F（男性）

●小学1年生の保護者。説明会初参加。

●資料が文字ばかりで分かり難い。初倉地区の子供の推移など客観的に統合が必要なことが分かる資料がほしい。

●地域の人分かる資料でないと意味が無い。

●北部や初倉地区など町外れの学校から統合している。町中の学校との比較資料がほしい。

●近隣市町の統合したときの状況（メリット・デメリット）の情報がほしい。

→子供の推計については以前示した資料に掲載しています。数字については住民基本台帳を基にしています。市のホームページに載せていますので、ご確認ください。

→町外れではなく、人数が減っているのがたまたま北部と初倉地区の学校ということです。町中でも同じ状況になれば再編を検討することになります。

→近隣市の状況は掛川市、牧之原市が大きな統廃合を行いました。特に大きなトラブルは聞いていませんが、やはり通学時間が長くなるなどの話は聞いています。

●HPだけでなく、学校だよりなどを活用して保護者に色々と通知していただくと良いと思う。

●「統合」の意味は。

→全く新しい学校にするという考えもありますが、現時点では検討中です。ただし、吸収ではなく、市町村でいうなら対等合併であり、校名、校歌も検討していきます。

発言者G（女性）

- 初中3年、湯日小6年、月坂保育園年長の保護者。
 - 初倉小と湯日小との統合においてお願いがある。
 - 統合するまで教員は異動しないでほしい。異動があるなら湯日小を知っている先生にしてもらいたい。
- 異動については約束することはできませんが、配慮は可能です。川根中と笹間中の統合の際にも生徒と一緒に教員も異動しました。ただし、全員を残すのは難しいので御理解ください。
- 子供たちがソフトランニングできるようクラス編成についても配慮します。

発言者H（男性）

- 初南小PTA。
 - 今回示された案は保護者の意見が反映されている。
 - 初倉小と初南小との統合の検討委員会にPTA会長などを入れてほしい。
- 現在は初倉小、初南小、湯日小のほか、北部小中学校と島田第一小、島田第一中の各校長が入って策定委員会を構成しています。次の協議では北部等を除いた組織になり、いただいたご意見について今後も検討していきます。

発言者I（女性）

- 初南小の統合が先送りされ安心してはいるが、心配事がある。
 - 私は不動産関係の仕事をしている。
 - 初南小学区内に分譲地がある。学校が無くなることで売れなくなるのではと心配している。
 - 売れない＝人口減少につながらないか。
 - 統合にメリット感が無い。公約のように掲げてほしい。
- 分譲地があることは認識していますが、統合が無くても将来的に子供は減少していく試算です。違う魅力を感じてもらえるようにしていきたいです。
- メリットについては予算が絡むため、明確にはできかねることを御理解ください。
- スクールバスは市長にも伝えてあり問題意識もありますが、最終的な決断は予算が決定してからになります。

発言者J（女性）

- 再編計画の（案）はいつ正式なものになるのか。
 - 湯日小の統合を早めた理由はなにか。
- 最終的には8月の教育委員会定例会で決定します。湯日小を早めた理由は保護者の意向と、早期に複式学級を解消するためです。
- 1年半しか無いが。
- 令和2年度は子供たちの交流活動を行うよう校長先生と相談しています。なお、毎年1月か2月に各校の次年度カリキュラムが決まってきます。
- 子供たちは交流期間が1年あれば問題ないと考えていますが、あとは大人の問題でしょう。計画の確定をもとにこれから準備していきます。

●聞いていた内容と違う。娘たちも戸惑う。

→時期を変えたところで同じ思いをする保護者の方が出てきます。戸惑う気持ちは分かりますが御理解ください。

発言者K（男性）

●湯日小を卒業した。

●5年間見守りの会に参加している。

●湯日小の全校37人中32人が会に参加している。

●火、水、金135日 約50名が子供たちを見守っている。

●以前初倉中学校の校長先生に湯日小の子供たちのことについて聞いた。

●最初は静かだが2、3か月すると非常に人間味が出てくるとのことであった。

●理由は地域の人に学校では教えてもらえないことを教えてもらったと子供が言った。

●統合する期限を区切らなくても良いのではないか。

→見守りの会が非常に良い活動をしていることは承知しています。統合後も続けていただければとありがたいです。御意見として聞いておきます。

発言者L（男性）

●校舎の利活用について教えてほしい。

●策定委員会のメンバーは。

●人から聞いた話だが「西部ふれあいセンター」が民間委託されると聞いたが。

→策定委員会のメンバーは関係する校長、部長、学校教育課長です。跡地利活用については、別途委員会を設置してワーキンググループなどで地域の意見を集約していく予定です。西部ふれあいセンターの民間委託については聞いておりません。

●策定委員会から跡地利活用の委員会に移行するという事か。

→利活用については大切なことであり、後悔しないようにしたいです。策定委員会とは別組織で副市長をトップとする委員会になります。

発言者M（男性）

●この説明会の論点は何か。

→湯日小と初倉小の統合における課題整理が一番の問題（テーマ）です。スクールバスについても同じで、柔軟に検討していきます。今回は、案の説明会です。

●スクールバスだが4kmは遠い。せいぜい30分。細かいと思うが親はそういうところが気になる。

→キロ数は文科省が出している基準で、原則として考えています。

●予算の範囲内で出来ることを考えるのではなく、出来ることに対してどうしたら予算を確保出来るかということを考えるべきではないか。

→御要望として聞き入れておきます。